

令和元年度 附帯施設農場業務報告

附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター技術部 農場グループ

施設園芸チーム

加藤 元保

附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附帯施設農場

概要

主として養液栽培，養液土耕栽培による果菜類の栽培管理を行い，それらを実習に供した。また地域貢献の一環で野菜苗生産販売，中学生の職場体験，夏休みこども体験学習，保育園の野菜栽培指導などに協力した。

ノズルと工場扇を昨年度より早い時期から稼働させたことにより，実習終了後8月の「夏休みこども体験学習」のミニトマト収穫体験まで樹勢を比較的良好な状態で維持できた。

後期には施設の一画に無機，有機の各種培地を充填したコンテナを置き，養液栽培実習に対応した。

総括

各施設の管理状況を第1表に示した。

(1) 二次育苗用の育苗温室において，栽培生産・実習用，販売用，保育園提供用の全ての野菜苗の育苗管理を行った。

(2) 土耕温室ではピーマン栽培を行った。
地元中学生のインターンシップ期間中に一連の定植作業を体験させ，後日その収穫物を成果として提供した。

栽培途中から株の大半が萎縮，茎葉が叢生状態となるモザイク病症状となり，収穫に影響した。

(3) 旧ミスト耕温室では前期・後期の2回ミニトマト自主栽培実習を行った。
前期は温室内の高温対策として，ミスト

(4) 礫耕温室は大玉トマトの冬期無加温栽培に取り組んだ。出荷不適な果実は，加工チームにジャム加工用として供出した。

(5) 旧ミスト繁殖温室では野菜セルトレイ苗の一次育苗と養液礫耕定植用のトマト苗を管理した。

(6) 旧林産温室ではナスの栽培を行った。8月中には他の施設の作業も集中することから防除に手が回らず，ダニ類の多発を許してしまった。

(7) 西圃場（旧水耕温室跡地）は休耕地とし，今年度は使用を中止した。

第1表. 温室・圃場の栽培管理状況

育苗温室

		H31.1	2	3	4	R1.5	6	7	8	9	10	11	12	備考：二次育苗
		上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	
栽培 暦	野菜苗 (ポット)				○ ○	■								底面給水ベンチ自動灌水
									○	■				土耕温室用ピーマン 旧ミスト耕温室用ミニトマト
										○	■			キャベツ, カリフラワー, ブロッコリ, メキャベツ, ケール, コールラビ, レタス, ハクサイ, ハーブ

凡例 ○移植 ■出荷

土耕温室

		H31.1	2	3	4	R1.5	6	7	8	9	10	11	12	備考	
		上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下		
栽培 暦	ピーマン		■	■	■									元肥 ユークリン：4kg VS堆肥：272kg サンライム：4kg キーゼライト：8kg キチンBFB：8kg 肥培管理：流量比例式液肥混入機 使用点滴灌水 9月～：OK-F-9：1kg 12月～：OK-F-3：1kg	
防除 暦	ネコブセンチュウ								◆					ラグビー MC粒剤	使用 薬剤
	コガネムシ類幼虫								◆					ダイアジノン粒剤 5	
	ハスモンヨトウ オオタバコガ								▶					サブリーナフロアブル	
	アブラムシ類								△					ベストガード粒剤	

凡例 ●定植 ■収穫期 ◆全面土壌混和 △植穴処理土壌混和 ▶散布

旧ミスト耕温室

		H31.1	2	3	4	R1.5	6	7	8	9	10	11	12	備考	
		上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下		
栽培 暦	ミニトマト (地域環境デザイン 学教育コース・地球 環境システム学教育 コース)				●	■	■							コンテナ使用隔離ベット式養液 土耕栽培 肥培管理：流量比例式液肥混入機 使用点滴灌水	
	(教育学部技術科)				●	■	■							6～8月上旬：タンクミックスA, B 10～11月：タンクミックスF, B 11～2月：タンクミックスA, B	
	(農林生物学教育 コース・農業生物ブ ログラム, 森林科学 プログラム, 国際 開発資源学教育 コース)	■	■						●	■	■			使用培地：ロックウール, パーライ ト, くん炭+ビートモス, ヤシ殻 培養液管理：DATハウス肥料A処方	
防除 暦	トマトサビダニ						▶							アネキ乳剤	使用 薬剤
	コナジラミ類						▶	▶						ウララDF コルト顆粒水和剤	
	ハモグリバエ類									△				チェス顆粒水和剤 ベストガード粒剤	
	うどんこ病 灰色かび病													▶ダコニール1000	

凡例 ●定植 ■収穫期 ▶散布 △植穴処理土壌混和

礫耕温室

		H31.1	2	3	4	R1.5	6	7	8	9	10	11	12	備考	
		上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下		
栽培 暦	トマト						●		●					養液礫耕栽培方式 17m×8ベット 培養液管理：OATハウス肥料 B, C, SA, SC処方 1月～3月：B処方 4月～5月上旬：B処方 5月中旬～7月：SA処方 8月～10月中旬：SC処方 10月中旬～11月：C処方 12月～：B処方	
	防除 暦	コナジラミ類						▶							ディアナSC
	うどんこ病 灰色かび病												▶	コルト顆粒水和剤	
														▶	ダコニール1000

凡例 ●定植 ■収穫期 ▶散布

旧ミスト繁殖温室

		H31.1	2	3	4	R1.5	6	7	8	9	10	11	12	備考：発芽床、一次育苗
		上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	
栽培 暦	野菜苗 (セル苗)			☆○					☆●					ナス、ピーマン、トマト、ミニトマト、 キュウリ、カボチャ、ズッキーニ、 メロン、オクラ、ハーブ 礫耕温室用トマト 旧ミスト耕温室用ミニトマト 土耕温室用ピーマン キャベツ、カリフラワー、ブロッコリ、 メキャベツ、ケール、コールラビ、 レタス、ハクサイ、ハーブ
	防除 暦	コナジラミ類							↓					

凡例 ☆播種 ○移植 ●定植 ■収穫期 ▶散布 ↓灌注

旧林産温室

		H31.1	2	3	4	R1.5	6	7	8	9	10	11	12	備考：面積105㎡
		上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	
栽培 暦	ナス						●		■					土耕栽培、全面マルチ 元肥 スミカエースCR10：4.2kg ニーム核油粕：3kg ユーキリン：1kg VS堆肥：51kg サンライム：3kg キーゼライト5kg キチンBFB：3kg 腐植力：1.6kg サンゼオン豊土：1.6 kg
	防除 暦	ハモグリバエ類					△							
	チャノホコリダニ							▶					アニキ乳剤	
	チャノホコリダニ幼虫								▶				アブロード水和剤	
	カメムシ類							▶					アデオン乳剤	
	コナジラミ類								▶				アルバリン顆粒水和剤	
	ネコブセンチュウ						◆						ウララDF	ラグビーMC粒剤

凡例 ●定植 ■収穫期 ▶散布 ◆全面土壌混和 △植穴処理土壌混和